

今こそ、「平和を考える」 ～必ず伝える。これからも～

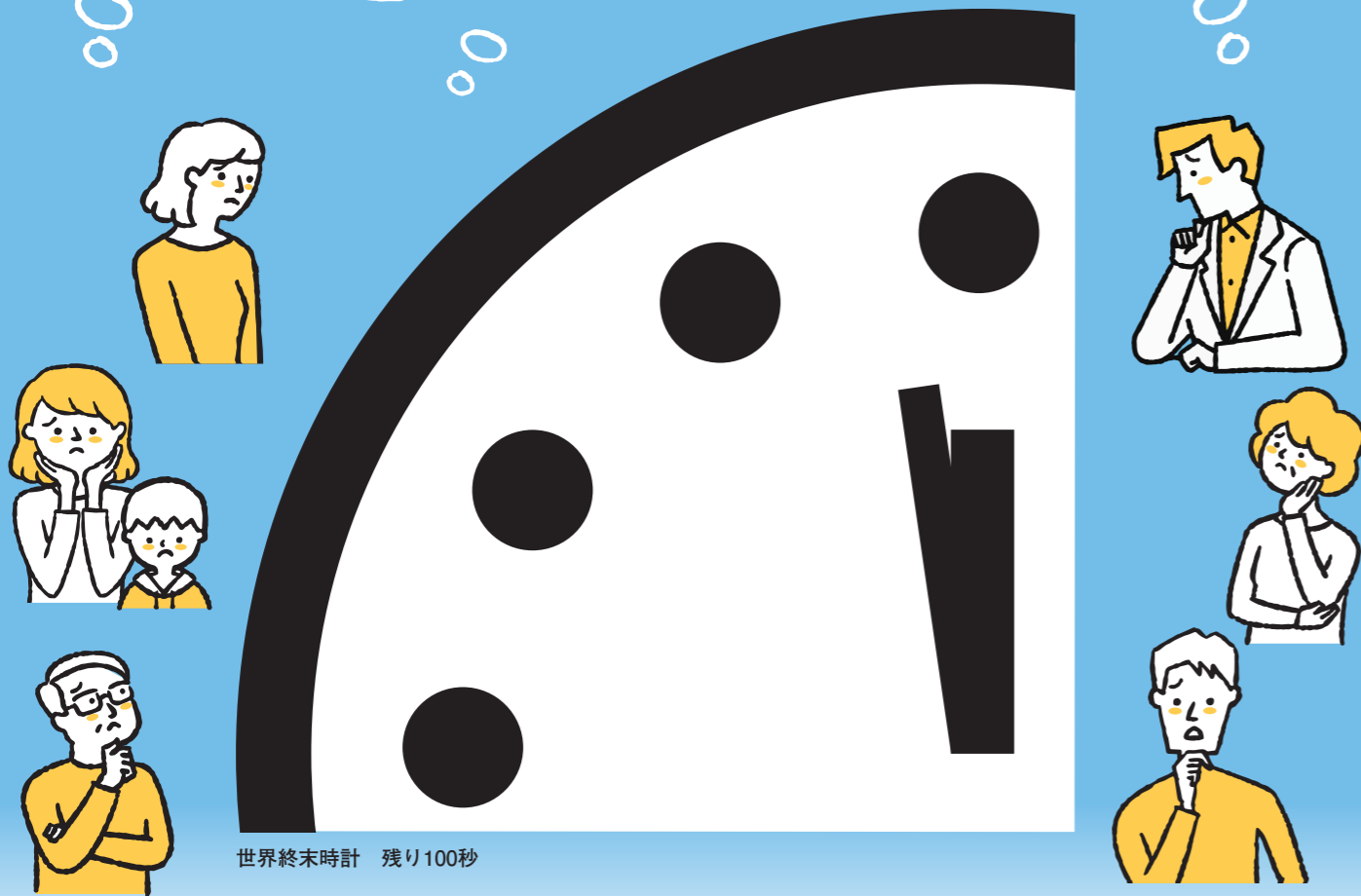
みんなで
考えて
みませんか

21世紀となり、次々と不安定要素が増えている中、100年前に逆戻りしたかのようなロシアによるウクライナへの侵攻により、あってはならない市民を巻き込んだ悲惨な状況が連日報道されています。世界は今、20世紀の二度にわたる世界大戦への反省はどこにいったのでしょうか。

核の課題

気候変動に 地殻変動

新型コロナウイルス



世界終末時計 残り100秒

「平和」を守るために、わたしたちに何ができるでしょうか。今回の特集では、東都生協の平和活動を紹介します。

終末時計をご存知ですか。核戦争などによる人類の終末を午前0時とし、終末までの残り時間を示したもので、アメリカの原子力科学者会報(Bulletin of the Atomic Scientists)が定期的に発表しています。第2次世界大戦後の1947年から始まり、当初は核兵器の脅威に対しての時間でしたが、2007年より気候変動も含み、今ではパンデミック、生物学的脅威、拡散される偽情報など地球を危険にする要素を加味しています。

今年1月21日(アメリカ時間)、2022年の終末時計が発表されました。人類の終末まで「残り100秒」。これまでの発表の中で、最も終末に近づいた結果ですが、2月のロシアのウクライナへの侵攻以降、一気に針が進んだのではないのでしょうか。



旬のレシピ

みょうがの栄養

水分の摂り過ぎによるむくみの緩和効果があるカリウム、抗酸化作用により活性酸素を抑制し、夏バテなどの疲労改善に役立つアントシアニン、血流促進作用で冷え予防につながるミョウガジアルなどを含む「みょうが」。脇役に使われることが多いですが、夏によく食べるというのには理にかなっているのかも…。



Attention, please!!
【アテンション・プリーズ】

みょうがは好きですか?
薬味以外にこんな調理法があるという皆さん、
P.9のパズルの答えと一緒に送ってね。

みょうがと玉ねぎのかき揚げ

材料(2人分)

みょうが	2個
玉ねぎ	1/2個
大葉	4枚
釜揚げしらす	50g
薄力粉	大さじ2
塩	小さじ1/4
サラダ油	適量

作り方

- みょうがは縦半分にしてから薄切り、玉ねぎは薄切り、大葉は軸を切り落として千切りにする。
- ポリ袋などに釜揚げしらす、(1)、薄力粉を入れ、ふりながら全体的にまぶす。
- ボウルに塩と(2)を加えてさっくりと混ぜる。
- 鍋に底から3cm程度の高さまでサラダ油を入れて170°に熱し、(3)の1/8量を木べらですくい落とし、上下を返しながら3~4分ほど揚げる。残りも同様に揚げる。

もう一品 おすすめ

みょうがと、きゅうりの浅漬け

材料(2人分)

みょうが	3~4個
きゅうり	1本
白いりごま	少々
塩	適量
水	大さじ3

作り方

- みょうがは縦半分につけてから縦に薄切りにし、水にさらしてシャキッとさせ水気を切る。きゅうりはまな板に塩をふり、板ずりにして、洗って水気を拭いてからヘタを取って薄い輪切りにする。
- ボウルに(1)を入れ、塩小さじ1をふって手でむもようにして混ぜる。水を加えてラップをかけ、お皿などで重しをしてしんなりとするまで10分ほどおいて水気を絞る。皿に盛ったあと白いりごま少々をふる。



みょうがの保存方法

乾燥を避けるため霧を吹いてからポリ袋に入れ、袋の口を開けたまま冷蔵庫の野菜室へ入れるか、湿らせたキッチンペーパーで包んで野菜室に入れましょう。

他に、刻んで冷凍保存するのも可。酢漬けにすれば保存もきき、みょうがの赤色も鮮やかになりおいしさもUPします!

第18回 東都生協平和のつどい

かな とど
「奏でよう 平和のしらべ 届けよう 平和のメッセージ」

開催日: 7月31日(日) / 場所: さんぼんすぎセンター

戦争のない平和な未来へ祈りを込めて「東都生協平和のつどい」を開催します。

午前の部 チェロミニコンサート、
 ととと会麦藁帽子による朗読劇「この子たちの夏-1945・ヒロシマ ナガサキ」より抜粋

午後の部 チェロミニコンサート、東友会による戦争体験お話し

- パネル展示(申し込み不要、見学自由)
- 戦争ぼうき キット配布(限定50セット)
- 平和をテーマにした写真「しあわせフォト」スライドショー

※平和のつどいの内容は、新型コロナウイルスの感染状況などにより変更する可能性があります。

〈チェリスト紹介〉



横山 二葉氏 阪田 宏彰氏

写真で見る、
 これまでの
 平和のつどい

第11回 平和のつどい



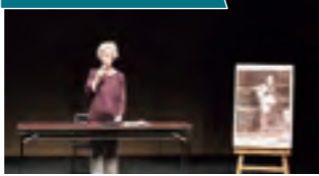
「すいとん」を作ってみなで
 試食

第13回 平和のつどい



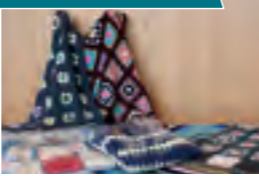
エントランスでの
 「原爆と人間」のパネル展

第15回 平和のつどい



(一社)東友会・故 木村徳子さんによる被爆証言
 木村さんは2021年2月にご逝去されました

第16回 平和のつどい



毎年、組合員が毛糸で編んだひざ
 掛けを東友会の皆さんに贈呈

ピースアクション

広島県生協連・長崎県生協連・日本生協連は、被爆体験の継承や核兵器のない世界への思いを共有する場として、毎年「ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ」を開催。1978年からスタートし、東都生協も毎年代表を派遣し参加しています。

今年はオンラインで開催。「ピースアクション」で検索して特設サイトから参加できます。詳しくは右記二次元コードよりご確認ください。



戦争ぼうき

「戦争ぼうき」づくりは、「戦争放棄」を意味する取り組みです。1991年、東都生協の組合員・入江篤子さんの発案で始まりました。アクセサリ感覚で身に付けながら「戦争反対」の意思表示ができるので、今では全国に広がっています。

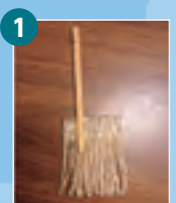
戦争ぼうきの作り方 和ぼうきと洋ぼうきがありますが、今回は和ぼうきをご紹介します。

【和ぼうき材料】

- 棒: 長9cm・太5mm
- ぼうきの穂(麻ひもなど): 長5.5cm・幅5cm
- 布: 細いリボンなど



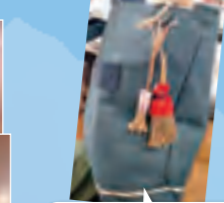
幅の広いものを作る時は、
 ぼうきの穂を2枚使います



穂の両面テープの
 剥離紙を剥がし、棒
 を2/3の場所に置
 き、半分の幅に折る



布を巻き、リボンで
 上を止めて完成



早速カバンに!
 「かわいいわね」と声を
 掛けられたら、「ぼうき」
 の意味をお話します。

親子で読もう!

MOGMOG 編集委員が
 おススメする絵本&児童書



『せんそうとへいわ』

作・絵: Noritake

『あいたかったよ』

作・絵: エルズビエタ 訳: こやま峰子

『ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸』

作: アーサー・ピナード 絵: ベン・シャーン

『ひろしまのピカ』

作・絵: 丸木俊

『あいうえおのき』

作: レオ・レオニ 訳: 谷川俊太郎

『戦火のなかの子どもたち』

作・絵: 岩崎ちひろ

『ガラスのうさぎ』

作: 高木敏子

『ふたりのイーダ』

作: 松谷みよ子



「ウクライナ緊急募金」は8月26日まで受け付けています。ご協力をお願いします!

【募金方法】OCR注文書、インターネット注文、スマホ注文アプリ「スマ注」、電話注文などで受け付け。OCR注文書では、特別企画注文欄「商品(申込)番号」に以下の6桁番号を、「数量」欄に募金口数をご記入ください(1口200円)。
商品(申込)番号: 365947

※募金は寄附金控除の対象となりません。領収証の発行もできません。ご了承ください。



まとめ

世界では、常にどこかで戦争や紛争が起こっています。いったん戦争が始まると双方に多くの犠牲者が出ます。大きな損害をもたらします。そして誰も幸せになれません。

戦争を体験した語り部の方々は今々減少しています。広島原爆ドームも風雨などによる劣化防止のための保存工事が行われ、昨年4月に

は5回目が終了したことを聞くと時間の経過を感じます。

東都生協は次世代の子どもたちに平和を伝えていくため、今後も平和活動を続けます。2022年度も各地域で平和に関する企画の開催や活動を予定しています。

終末時計の針を進めるのも、止めるのも私たち次第です。



「平和なくして生協なし」 — 東都生協の姿勢

「平和なくして生協なし」。この言葉通り、東都生協はさまざまな平和活動に取り組み、また他団体とも協力しながら平和について考えてきました。

当たり前な日常は「平和」の上に成り立っていますが、一瞬にして壊れるかもしれない…皆さんも家族で平和について話をする機会を作ってみませんか。



平和募金

次世代の子どもたちに平和な世界を引き継いでいくために、毎年11~12月に組合員活動情報紙『ウォ』などで東都生協平和募金を呼び掛けています。組合員からは、例年約200万円の協力があり、平和活動のために大切に活用しています。2021年度は、コロナ禍の影響で平和募金の呼び掛けはせず、2020年度の残金を活用して平和活動を行いました。

2021年度の平和募金活動

コロナ禍の中、オンライン利用などの工夫をして開催しました。地域の活動を紹介します。

第1地域委員会

おうちで社会科見学!
東京大空襲・戦跡資料
センターで学ぼう!

オンライン参加型企画。「東京大空襲」について、映像と館内展示の解説を聞きました。

第3地域委員会

世界の戦争と内紛
~ミャンマーで今何が
起こっているの?

難民支援団体代表の方とミャンマー人の方を講師に、ニュースでは分からないミャンマーの社会的背景や実情を伺いました。

第8地域委員会

平和の想いを未来につなげよう
伝え、残さなければならないこと
~40年間の被爆者相談から~

(一社)東友会の相談事業を利用した方のお話をもとに、被爆時の状況、戦後のつらい思いなど、相談員の村田未知子さんから伺いました。

・東都生協発100万人のピースベル(第2地域委員会) ・アジアの子どもたちに絵本を贈ろう(第4地域委員会他、複数委員会で実施) ・朗読会「私たちが見た戦争、聞いた戦争」(第5地域委員会) ・夏休み親子ユニセフZOOM学習会(第6地域委員会) ・「折り鶴」がなぜ平和の象徴になったのかを考えよう!! 鶴を使って、プリザーブドフラワー作り(第7地域委員会) ・地域版『ウォ』による地域にある戦跡募集、おうちでピースニット(第9地域委員会)

▶戦争の悲惨さを次世代に語り継ぐ

戦争体験者たちも高齢となり、戦争を知らない人たちが大半となった今、二度と戦争を繰り返さないという思いを「東京被爆二世の会(おりづるの子)」の青木克明さん(おりづるの子副会長)に語っていただきました。



▶核使用は誰であれ、決して許されない — 東京被爆二世の会(おりづるの子)



青木 克明 さん

私の母は陸軍船舶練習部に勤務中、原爆に遭い大勢の被爆者の救護に当たりました。母はその様子を思い出したくないと詳しいことは話していませんでしたが、化膿しやすい体質になったそうです。私も子どもの頃、けがをすると必ず化膿したため、母は「自分がピカに遭ったせいだ」と言っていました。原爆による遺伝的影響への不安は被爆者だけでなく、被爆二世・三世にもずっと続きます。

私は広島で「被爆二世・三世の会」に参加し、被爆体験の継承と核兵器廃絶の活動をしていましたが、その後、東京転居に伴い「東京被爆二世の会(おりづるの子)」に参加しました。

ロシアのウクライナ侵攻で多くの人が亡くなり、傷つき、プーチン大統領が核兵器使用に言及しているのは許されません。武力ではなく、話し合いによる解決のために国連がリードし、日本政府は核兵器禁止条約に加わり、核保有国を巻き込んでいく役割を担うべきです。

▶一般社団法人 東友会(東京都原爆被害者協議会)

広島・長崎で人類初の原爆を経験し、その後東京で生きてきた被爆者が1958年に結成。「ふたたびヒロシマ・ナガサキをつくらせない」を合言葉にさまざまな事業や取り組みを続けています。2013年には、東友会の支援を得て、都内在住被爆二世(有志)により「東京被爆二世の会(おりづるの子)」が誕生。